

秋 田 県 農 業 法 人 協 会

令 和 8 年 度 事 業 計 画

〔令和8年4月1日 ～ 令和9年3月31日〕

【活動方針】

農業をめぐるのは、混沌とする国際情勢による資材高騰・調達困難の影響や異常気象の頻発化に加え、基幹的農業従事者は高齢化し2040年には30万人程度へ激減する推計値もあるなど、様々な課題に直面しています。

こうした中、国は、食料・農業・農村基本法の基本理念（食料の安定供給の確保、農業の多面的機能発揮、農業の持続的な発展、農村の振興）に基づく、食料・農業・農村基本計画（R7.4.11閣議決定）において、平時からの食料安全保障を実現する観点で、令和7年度からの初動5年間の農業構造転換推進集中期間において、食料安全保障の確保に向けて、農業者・消費者双方が納得する食料の安定的な供給システムの構築を急いでいます。

一方、本県の認定農業法人は年々増加し900法人を超えましたが、経営力の高い意欲ある経営体でも、役員の高齢化による適期の経営継承や人員確保による作業の安定化が必要であり、県は、食料供給基地として産地を支える担い手の確保・育成をはじめ、スマート技術の普及や基盤整備などによる生産性の向上、戦略的な生産・販売による競争力の高い産地づくり、環境負荷の少ない農業生産の普及やオール秋田での輸出拡大などを推進するとしています。

こうした中、我々は日本農業法人協会会員として、県内の農業法人のトップランナーとの自覚を持ちながら、農業を職業として誇り創意工夫による農業経営を展開し、若者に夢や希望を託せる魅力ある産業に発展させる必要があります。

このため、更なる関係機関等との業務連携を始め賛助会員の皆様の協力を通じて、会員の多様な経営スタイルに合わせた経営力の強化や所得増大に向けて、全国や県内の仲間の情報ネットワークを駆使して、地域貢献・社会貢献も視野に、会員相互の研鑽や連携・強化を図る活動を展開していきます。

【ポイント】 ～農業界が職業として若者に選ばれる第1位の業界を目指して～

- 1 トップマネジャーとして経営力の強化と相互研鑽
- 2 賛助会員、協定締結関係機関等との連携・協調
- 3 日本農業法人協会秋田県支部としての地元貢献及び会員拡大 《声掛け運動》

【実施事項】

1 会議の開催

（1）総会（第33回）

令和8年度事業計画・予算や理事及び監事の選任等を決定するため、総会を開催するとともに、総会記念講演を兼ねて農業経営者トップセミナーを開催する。

○期 日 6月29日（月）

○場 所 秋田市 ホテルメトロポリタン秋田

○参集者 来賓、会員、賛助会員

○内 容

《議事》

- ・ 令和7年度事業報告及び収支決算の承認の件
- ・ 令和8年度事業計画案・予算案・会費等の決定の件
- ・ 理事及び監事の選任の件

《記念講演、情報提供》

（2）監査会

○期 日 4月2日（木）

○場 所 秋田市 協同組合秋田市民市場

○参集者 監事、会長

○内 容 令和7年度事業実施状況及び会計執行状況等について

（3）役員会

事業計画にある各種活動の実施日程や内容の検討を始め、会員拡大や活動スケジュールなどを協議するため、役員会を随時開催する。《年10回程度》

2 例会の開催

農林中央金庫秋田支店様との共催により、専門家や先進農業法人による講演、会員や若手会員の経営事例の紹介をはじめ、会員の相互研鑽や情報交換・交流はもとより、会員以外の法人経営者や地区法人組織会員との交流を通じた組織活動の強化・活性化を図るため、例会を開催する。

○ 第1回 県南地区 9月上旬 大仙市

○ 第2回 県北地区 12月上旬 未定

○ 第3回 県央地区 2月中旬 秋田市 《大日本農会秋田支会研修会共催》

3 セミナー等の開催

農林中央金庫秋田支店様との共催により、農業法人の抱える課題解決への糸口を探るため、セミナー等を開催する。

（1）トップセミナー [農林中央金庫秋田支店様共催]

総会記念講演を兼ねて農林中央金庫秋田支店様との共催により、日本農業法人協会会員や全国で活躍する農業経営者や専門家を講師に迎えて、会員のトップマネージャーとしての経営管理能力及び生産技術の向上・発展に向けたセミナーを開催する。

○期 日 6月29日（月） 《総会終了後》

○場 所 秋田市 ホテルメトロポリタン秋田

○出席者 会員、賛助会員、若手会会員 ほか

(2) パートナー研修・交流会 [若手会共催]

当協会若手会と共催し、若手会会員や家族並びに従業員による相互研鑽や情報交換・交流を通じた農業経営の発展と組織活動の活性化を図るため、研修・交流会を開催する。

○期 日 2月上旬

○場 所 秋田市

○出席者 会員、賛助会員、若手会会員 ほか

4 生産・経営体質強化活動

本協会と協定を締結している機関・団体や農業経営アドバイザーと連携を図り、会員の生産力や経営体質の強化及びその手法等について検討する研究会を新春放談会として開催し、経営努力では解決できない経営課題を政策提言などに反映させる取組を行う。

また、関係機関・団体等が主催するビジネスマッチングやセミナー・フェア等へ積極的に参加し、販路拡大を支援する。

(1) 事業提携

覚書や協定を締結した関係機関・団体と適宜関係者を交えて情報交換を行うほか、連携・協力に関する活動を実施する。

ア 農林中央金庫秋田支店との協力 【随時】

包括的パートナーシップ協定に関する覚書（H27.6）に基づき、円滑な金融対応や人材育成、販路開拓への支援などを行い、会員の経営課題の解決を図る。

イ 秋田県農地中間管理機構との連携 【随時】

農地中間管理事業の活用促進に向け締結した事業連携協定（H28.7）に基づき、県農地中間管理機構から農地の紹介等を受けるなど、会員の円滑な農地の集積・集約を支援する。

ウ 公立大学法人秋田県立大学との連携・協力 【随時】

県立大学と法人協会との連携・協力に関する協定（H29.9）に基づき、県立大学の研究成果の普及等を通じた会員の生産現場への支援強化や、経営力向上への連携、協力体制の構築に加えて、学生へ生の農業現場の声を届ける活動を実施するほか、新春放談会（R9.1）を共催いただき実施する。

○ 第4回新1年生へ農業法人経営者からの講義 7月13日（月）

○ 第12回情報交換会 10月下旬

○ スマート農業指導士育成プログラム 【コース1】プログラム修了認定有り
【コース2】プログラム修了認定無し、オンデマンド講義の視聴のみ

エ アドバイザーによる支援活動 【随時】

金田農業経営経営アドバイザー（R2 委嘱、秋田県立大学名誉教授）による、会員への経営課題の整理・助言など通じた経営力の強化を支援する。

(2) 研究会・政策提言

生産・経営体質の強化に向けた販売戦略や経営改善の手法に加え、経営努力では解決できない課題等について研究し、日本農業法人協会の行う政策提言に反映させるとともに、本県農業の更なる発展にむけた支援の在り方等に関して、県や農業団体等と意見交換を行う。

- ア 県農林水産部幹部との意見交換会 8月上旬 秋田市
- イ 全国農業協同組合連合会秋田県本部との情報交換会 11月上旬 秋田市
- ウ 生産強化・経営強化研究会（R9新春放談会） 1月7日（木） 秋田市
〔県立大学様共催予定〕
- エ 東北農政局と東北6県農業法人組織会長との意見交換会 3月上旬 仙台市

(3) 販路拡大、交流・連携

会員生産物の輸出も含めた利用促進と新たなビジネスの可能性を探るため、パートナーシップ協定を締結している農林中央金庫秋田支店をはじめ、賛助会員が主催するセミナー・ビジネスマッチング等、関係機関・団体と行事を共催し会員の参加を勧奨する。

- ア 第19回アグリフードEXPO東京2026 《(株)日本政策金融公庫主催》
「国産」にこだわり、広域に販路拡大を目指す農業者や食品加工業者とバイヤーをつなぎ、ビジネスマッチングの機会を提供するプロ農業者たちの国産農産物・展示商談会に、当協会として出展した会員を支援する。
◇ 8月19日（水）～20日（木） 東京都・東京ビッグサイト
- イ 県産食材マッチング商談会2026
県が主催する県産食品の販路開拓等を目指す農業者とバイヤー等をつなぐ商談会への参加を勧奨する。《募集期間4/1～24》
◇ 7月16日（木） 秋田市・秋田テルサ
- ウ 輸出促進セミナー
秋田県農畜産物輸出促進協議会・グローバルリーチAKITAが主催する県産食品の輸出に関するセミナー等への参加を勧奨する。
◇ 1月下旬 場所：秋田市
- エ 国内農業視察研修
更なる経営力強化に向けて、日本農業法人協会会員等の先進的な経営の作業効率・経営改善、販路拡大等の情報収集などを行うため、視察研修を実施する。
◇ 10月下旬 場所：未定
- オ 関係機関・団体との行事共催、交流・連携
◇ 大日本農会秋田支会研修会〔共催予定〕 2月中旬 秋田市
《当協会第3回例会兼ねる》
◇ 農Future!!例会～講演会～ 《日本政策金融公庫主催》
2月上旬 秋田市

5 会員拡大・地域貢献等活動

会員拡大に関して、地域で活躍する農業法人をはじめ国の雇用就農の関連事業を活用する法人などに対して、各種会合等において積極的に会員へ誘導するほか、会員一人一人が“声掛け運動”を展開する。

また、地域貢献の一貫として農業への就業希望者を受入れ、農業技術や経営管理能力を高めるための人材育成に取り組む。

(1) 組織強化・会員拡大

会員以外の経営者との連携を強化するため、例会等への参加を呼びかけ交流を図るとともに、関係機関・団体等の催事に参加するなどして会員拡大を働きかける。

◇ 会員58経営体（法人56、個人2） 《R8.4.1現在》

(2) 若手会への支援

日本農業法人協会が主催する次世代農業サミットへの積極的な参加、ファーマーズ&キッズフェスタ 2027 への出展を後押しするため、経費の一部助成を目的に助成金（15万円）を交付するなど、若手会の自主活動を支援する。

(3) 雇用・人材育成活動

経営体質の強化に向けた人材育成と地域貢献の一貫として、国の雇用就農の総合的な推進事業等を活用して農業への就業希望者を受入れるほか、会員で受入れが増えている外国人材の受入れ・共生に関しても情報を提供する。

◇ R8雇用就農資金事業（助成金60万/年、4年間）の実施スケジュール

R8 募集	募集期間(予定)	支援期間
第1回	R8.3.4～R8.4.7	R8.6～R12.5
第2回	R8.6.18～R8.7.22	R8.10～R12.9
第3回	R8.10.22～R8.11.25	R9.2～R13.1

◇ **新**あきたの米ぢから就農促進プラットフォーム《R8から4年間》

水稻栽培経営体の担い手確保・育成強化に向けて、就農希望者の呼び込みや受け入れ法人とのマッチング強化を図る官民連携体制の構成機関として、会員の求人受け入れ意向を把握し就農希望者の受け入れに結び付ける。

(4) **新**地域貢献・社会貢献活動

農業法人の使命の一つである社会貢献・地域貢献活動の一環として、令和6年度に当協会30周年記念行事として実施した、常設「子ども食堂」（秋田市）等への食材提供を引き続き行い、運営を支援する。

6 日本農業法人協会秋田県支部活動

日本農業法人協会の秋田県支部として、同協会が行う事業・諸行事に参加・協力し、全国の仲間との情報交換と相互研鑽を積極的に進める。

なお、各種会合は対面での開催を基本となるが、予算面などを考慮してWeb併用開

催となる場合もある。

(1) 総 会

○第50回 6月18日(木) 東京都

(2) 都道府県会長会議等

○第34回会長会議 5月28日(木) 東京都 WEB併用

○第35回会長会議 2月18日(木) 東京都 WEB併用

○政策提言委員会(第14期・桜田会長所属) 随時

(3) セミナー等

○事務局会議 4月22日(水) WEB

○夏季セミナー 6月18日(木)～19日(金) 東京都
(終了後、自主研究会などを開催)

○次世代農業サミット

第17回 7月6日(月)～7日(火) 大分県

第18回 1月7日(木)～8日(金) 東京都

○ファーマーズ&キッズフェスタ2027 3月6日(土)～7日(日)
東京都・代々木公園

○春季大会・春季セミナー 3月18日(木)～19日(金) 東京都
(終了後、自主研究会などを開催)

○雇入れ時農作業安全合同研修会(Web・4時間) 毎週金曜日

○**新**安全衛生オンライン研修(学科教育のみ、実技教育はマニュアル提供の上事業所で実施し記録⇒学科・実技の修了で特別教育受講修了を発行) 6月募集予定

・危険予知活動・訓練 1.5H

・フォークリフトの運転の業務に係る特別講習 6.0H

(4) 都道府県組織等との連携

北海道・東北各県組織との連携強化をはじめ、全国の仲間との交流を促進してネットワークの拡大を図る。

○北海道・東北農業法人WEEK2026 inいわて

8月27日(木)～28日(金) 盛岡市「メトロポリタン盛岡 NEWWING」

○**新**東北各県農業法人協会連携現地視察・交流会 7月3日(金)

視察：株式会社西部開発農産 本社事務所 北上市和賀町

交流：直営店 せいぶ農産発焼肉 DINING まるぎゅう 北上市北鬼柳

○第23回東北・北海道農業法人協会会長・事務局会議 1月下旬

7 情報提供

関係機関・団体の主催する行事を会員へ広く周知するとともに、本協会ホームページで協会活動のPRや会員個々のホームページとのリンク、FCPシートの公開による新

たなビジネスチャンスの創出等に取り組む。

また、SNSを活用した会員同士の交流場《お米LINE〔藤岡副会長〕》を運用しており情報交換を行うとともに、日本農業法人協会ではSNS（Facebook、LINE、農業の社長ラジオの配信等）で会員の活動や成果等を積極的に情報発信していることから、当協会や会員の活動情報を提供する。

8 会議等への参加

関係機関・団体等の主催する会議に出席し、本協会・農業法人として意見を述べるほか、研修会に積極的に参加し自らの経営のスキルアップを図る。

《委員等への就任：役割を分担》

- ◇（公社）秋田県農業公社 理事 **桜田会長** (R7.6～9.6)
- ◇秋田県農業再生協議会 委員 **藤岡副会長**
- ◇秋田県農産物マーケティング戦略会議（仮称） **田村副会長**
~~秋田県農産物流通販売戦略推進会議~~
- ◇秋田県農業経営・就農支援センター（運営会議） **桜田会長**
- ◇秋田米新品種ブランド化戦略本部本部 本部長・生産部会員 **田村副会長**
- ◇秋田県農業労働力サポートセンター 委員 **桜田会長**
- ◇秋田県6次産業化推進協議会 **田村副会長**
- ◇秋田県普及指導活動における外部評価委員 **桜田会長**
- ◇秋田県外国人材の受入れ・共生に係る連絡協議会 **藤岡副会長**
- ◇秋田県農畜産物輸出促進協議会・グローバルリーチAKITA **桜田会長**
- ◇東北地域農業特定技能協議会運営委員会 構成員
- ◇東北ブロック6次産業化推進行動会議 構成員

9 その他

- ① 活動内容やスケジュールは、役員会で協議する。
- ② 会員の活動への支援や、賛助会員等の各種事業及び催事への協力を行う。

〔 年間主要活動予定表は別紙 〕